

沼田城アプリで再現

ソフト会社、市に説明

沼田 沼田城（沼田市西倉内町）を題材としたスマートフォン向けアプリ「上州真田 3D沼田城」の開発に取り組むソフトウェア会社、クライム（高崎市栄町）と、ろけっと開発（前橋市表町）が14日、沼田市役所を訪れ、横山公一市長や市幹部職員に協力を依頼した。



アプリは沼田城の天守や石垣を3Dで再現し、画面を操作すると拡大や回転させて表示できる。沼田城にまつわるクイズも楽しめる。近く無料で正式公開を予定している。

ともに沼田高出身のクライムの金井修社長と、ろけっと開発の宇田川利明社長が、NHK大河ドラマ「真田丸」の放送をきっかけに地域活性化につなげようと開発を進めた。

市役所で2人は映像や端末を使って内容を説明し、市の後援やクイズの監修を依頼した。クイズを見た高山正教育部長は「簡単な問題もあったほうが入



アプリの説明を受ける横山市長(右)ら。左は「上州真田 3D沼田城」の画面

りこみややすいと思う。時代背景の解説もあれば分かりやすい」と助言し、参考資料を渡した。

金井社長は「城下町まで表示範囲を広げたり、子どもが楽しめるゲームを取り入れてバージョンアップしていきたい」と語った。横山市長は「今まで沼田になかった試み。楽しみにしている」と期待した。